

各位

Medicinova, Inc.
 代表取締役社長兼 CEO
 岩城 裕一
 コード番号： 4875 東証 JASDAQ
 問合わせ先： 東京事務所代表 副社長
 岡島 正恒
 電話番号： 03-3519-5010
 E-mail： info@medicinova.com

今後の開発方針に関するお知らせ

2014年3月27日 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一) (以下「当社」) は、今後の新薬開発方針を下記のとおりとしましたのでお知らせいたします。

当社は、これまでコア・ノンコア開発品を合わせ、計8つの低分子化合物の開発を進めてまいりました。この度、それぞれの開発状況、外部環境の変化などを考慮し、開発プログラムの全面的な見直しを行いました。その結果、当社は、今後、MN-166 (イブジラスト)、MN-221 (ベドラドリン)、MN-001 (ティペルカスト)、MN-029 (デニブリン) の4化合物に絞っての開発を行っていくことを決定しました。

現在、これら4化合物で9つの適応症で臨床治験を実施中、実施済または準備中であり、その進捗状況については下表の通りです。

開発コード (化合物名)	適応症	開発状況	
MN-166 (イブジラスト)	多発性硬化症	進行型多発性硬化症 フェーズ 2b 進行中	
	依存症	メタンフェタミン(覚醒剤)	フェーズ 2 進行中
		オピオイド(麻薬/麻薬系鎮痛剤)	フェーズ 2 進行中
		アルコール	フェーズ 2a 進行中
		マリファナ(大麻)	フェーズ 2a 進行中
	疼痛	慢性薬剤誘発性頭痛 フェーズ 2 患者登録終了、結果解析待ち	
MN-221 (ベドラドリン)	気管支喘息急性発作	フェーズ 2 完了	
MN-001 (ティペルカスト)	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)	フェーズ 2a 準備中 (他の適応症でフェーズ 2 完了済み)	
MN-029 (デニブリン)	悪性腫瘍	フェーズ 2a 完了	

以上

メディシノバ (MediciNova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、多発性硬化症を初めとする神経疾患、喘息急性発作、非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)、悪性腫瘍など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、スイート 650、エグゼクティブ・スクエア 4275 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性及び効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的及び製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発及び商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を始めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。